

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	電子メディア工学序論		
科目基礎情報							
科目番号	1E004		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子メディア工学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	セ`ロから分かるUNIX基礎講座:中井 猷:技術評論社:9784774139807, 情報リテラシー教科書 Windows 8/Office 2013対応版:矢野 文彦:オーム社:9784274069482, 自作Web教材						
担当教員	布施川 秀紀						
到達目標							
1.UNIXの操作をすることができる。 2.ワープロソフトを使うことできる。 3.表計算ソフトを使うことできる。 4.プレゼンテーションソフトを使うことできる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	UNIXのファイルシステムを理解し、コマンドを使いこなすことができる。	UNIXの基本的なコマンドを使うことができる。	UNIXの基本的なコマンドを使うことができない。				
評価項目2	ワープロソフトを使って、複雑な文書を作成することができる。	ワープロソフトを使って、簡単な文書を作成することができる。	ワープロソフトを使って、文書を作成することができない。				
評価項目3	表計算ソフトを使って、複雑な表を作成することができる。	表計算ソフトを使って、簡単な表を作成することができる。	表計算ソフトを使って、表を作成することができない。				
評価項目4	プレゼンテーションソフトをつかって、効果的なスライドを作成することができる。	プレゼンテーションソフトをつかって、簡単なスライドを作成することができる。	プレゼンテーションソフトをつかって、スライドを作成することができない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目で`は、主にコンピュータリテラシーを扱う。コンピュータの基本的な操作法とUNIX入門、電子メールを使う上で`のエチケットと電子メールの使い方のほか、実験報告書の作成に必要なワープロや表計算ソフトの使用、卒研発表で`必要なプレゼンテーションソフトの使い方を学習する。						
授業の進め方・方法	教科書、自作Webテキスト等を使ってPC画面上で操作方法を説明し、その後実習を行う。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	機器の説明,コンピュータへのLogin, 初期設定	本校の学生用PCへのLogin, 初期設定ができる。			
		2週	電子メールの使い方 コンピュータネットワーク利用のマナー	電子メールの使い方やコンピュータネットワーク利用マナーを理解する。			
		3週	ワープロソフト (Word) の使い方1	ワープロソフトで文書を作成することができる。			
		4週	ワープロソフト (Word) の使い方2	ワープロソフトで文書を作成することができる。			
		5週	表計算ソフト (Excel) の使い方1	表計算ソフトで簡単な表を作成することができる。			
		6週	表計算ソフト (Excel) の使い方2	表計算ソフトで基本的な関数と使うことができる。			
		7週	表計算ソフト (Excel) の使い方3	表計算ソフトで基本的な関数と使うことができる。			
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の使い方1	プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することができる。			
		10週	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の使い方2	プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することができる。			
		11週	UNIXの基本コマンド1	基本的なUNIXコマンドを使うことができる。			
		12週	UNIXの基本コマンド2	基本的なUNIXコマンドを使うことができる。			
		13週	UNIXの基本コマンド3	基本的なUNIXコマンドを使うことができる。			
		14週	Webpage作成1	簡単なWebpageを作成する事ができる。			
		15週	Webpage作成2	簡単なWebpageを作成する事ができる。			
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3			
			論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3			
			コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3			
			情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3			
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
UNIX	20	10	0	0	0	0	30
ワープロソフト	20	5	0	0	0	0	25

表計算ソフト	10	20	0	0	0	0	30
プレゼンテーションソフト	10	5	0	0	0	0	15